



# 防災テスト

◆ 次の問題について、正しいものには○を、まちがっているものには×を書きましょう。

③については、言葉の意味を書きましょう。

① 地震が発生したときは、机やテーブルなどの下にもぐり、机などの脚をしっかりと持つ。

② 震度とマグニチュードは同じ意味である。

③ 災害が発生したときの避難の約束事である「お・か(は)・し・も」、それぞれの意味を書きなさい。

④ 海沿いのまちの中には津波や津波避難に関する標識などがある。

⑤ 海の近くでいるときに地震が発生した場合、津波の発生が予想されるので裏山や高台に避難をしなければならぬ。

⑥ 「津波避難3原則」とは、「想定にとらわれるな・最善を尽くせ・率先避難者になれ」である。

⑦ 津波は陸地に近づくにつれて高さは低くなる。

⑧ ヒザくらいの高さの津波であれば安全である。

⑨ 津波は繰り返し襲ってくる。

⑩ 「津波防災の日」は、大地震の際、稲の束に火をつけて村人たちの命を救った「稲むらの火」の故事にちなんだ日である。

- ⑪ 「津波防災の日」は、11月5日である。
- ⑫ 平成27年12月、「世界津波の日」として定められた日は、「津波防災の日」と同じ11月5日である。
- ⑬ おもな土砂災害の種類は、「土石流・地すべり・がけくずれ」である。
- ⑭ 土石流の速さは、人が走る速さと同じくらいである。
- ⑮ 土砂災害は、大雨が降り続いたり大きな地震があったりしたときに起こる。
- ⑯ 土砂災害の前ふれなど危険な現象を見つけたときは、周りの人に知らせながら、まず自分自身が避難する。
- ⑰ 台風は巨大な空気の渦巻きになっており、反時計回りに強い風が吹き込んでいる。
- ⑱ 現在の家は安全なので、家具を固定したり、家具の配置を工夫したりする必要はない。
- ⑲ 非常持出袋は、無理なく持てる重さで、すぐ持ち出せる場所に置いておく。
- ⑳ 家族で災害時の対応について話しあったり、避難場所などを確認しあったりすることが大切である。